

～「あいさつ・声かけ」運動を推進しています～

「あいさつ・声かけ運動」とは・・・

日常的な「あいさつ」や「声かけ」を子どもと大人も含めてみんなでやる運動のことをいい、市民運動として定着していくように進めていきます。この「あいさつ・声かけ運動」を進めていくことにより、人間関係が豊かな、明るく安全で住み良い地域社会づくりを目指します。



「あいさつ」のいいこと・・・

- ・あいさつをする、また、されると、気持ちが良くなります。
- ・あいさつをする人同士の心の距離を縮め、親近感や連帯感を持つきっかけとなります。
- ・あいさつにより、地域にお住まいの方や自分の住む地域に深い愛着を抱くようになり、住み良い地域づくりが進んでいくことが期待されます。
- ・あいさつが交わされることにより、犯罪の起こりにくい地域づくりに繋がります。

～「あいさつ・声かけ」の実践に向けて～

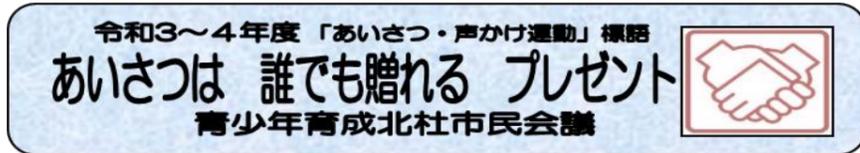
気持ちの良いあいさつは、活気ある職場や地域の連帯感づくりにとても大切なものです。青少年育成北杜市民会議では、地域社会の結びつきを深め、青少年がのびのびと育つ、安全で安心な住み良い社会を築くためにも、大人も子どももお互いに声をかける「あいさつ・声かけ運動」を推進します。

- ・地域での「あいさつ」の呼びかけ（おはよう、こんにちは、こんばんは・・・）
- ・家庭での「あいさつ」の呼びかけ（おはよう、いただきます、ただいま・・・）
- ・大人から子どもへのあいさつの推進（まず大人から元気なあいさつを！！）
- ・「あいさつ・声かけ」への意識啓発事業（リーダー養成など・・・）

令和2年度募集「あいさつ・声かけ運動」標語入賞作品一覧

中学校の部	最優秀賞	あいさつは 誰でも贈れる プレゼント	甲陵中 柴木雪乃さん
	優秀賞	あいさつで つながるひろがる ころのわ	高根東小 酒井銀河さん
小学校低学年の部	入選	元気よく すすんであいさつ じぶんから	高根東小 秋山芽生さん
	入選	あいさつは ひととひととを つなぐかぎ	須玉小 小尾美月さん
小学校高学年の部	優秀賞	あいさつで みんなに笑顔の 花がさく	須玉小 川上晴賀さん
	入選	おはようと 元気にあいさつ 北杜っ子。	長坂小 岡和さらさん
	入選	救われる 君の一言 「大丈夫」	明野小 小清水陽さん
中学校の部	入選	あいさつで つながる心と 笑顔の輪	泉中 島田奈緒さん
	入選	あいさつで 大きく広がる 地域の輪	甲陵中 小林ゆいさん
一般の部	優秀賞	あいさつは 明るい社会の 第一歩	小淵沢町 田丸諒一さん
	入選	会うたびに 声かけ つながる みんなの心	大泉町 小宮山典子さん
	入選	おはようが 今朝も響く 北の杜	武川町 小澤寧々さん

入賞された皆さんおめでとうございます！



～ 事業へのお問い合わせ、青少年の悩み事・相談等がございましたらこちらへ～

青少年育成北杜市民会議	生涯学習課	42-1373
青少年育成明野・須玉地区民会議	須玉公民館	42-1434
青少年育成高根・大泉地区民会議	高根公民館	46-1013
青少年育成長坂・小淵沢地区民会議	小淵沢公民館	42-1495
青少年育成白州・武川地区民会議	武川公民館	20-3019

発行 青少年育成北杜市民会議
(北杜市教育委員会生涯学習課)
TEL 0551-42-1373
FAX 0551-42-1124



《青少年育成北杜市民会議について》

青少年育成北杜市民会議は、市内の8地域の青少年育成地区民会議と青少年団体が結集した団体で、青少年の健全育成のための様々な活動を行っている団体です。

令和2年度の後半に行った、それぞれの青少年団体がやっている活動の一部をご紹介します！

～ 第16回 青少年育成北杜市民大会 ～

令和2年11月28日(土)に須玉ふれあい館を会場に「第16回青少年育成北杜市民大会」が開催されました。

今回は、北杜市教育委員会のふれあい塾と共同開催し、基調講演では、県立中央病院精神科部長 志田博和氏による「子どもの前でスマホばかりみると…～まず我々が知っておくべきスマホ・ネット・ゲーム依存の現実～」と題して講演を頂きました。少年の主張発表では、映像による発表となりましたが、第42回少年の主張山梨県大会優秀の甲陵中学校3年 落合華子さん、柴木雪乃さん、小林聖弥さんの力強い意見を聞くことが出来ました。

また、今年度募集し、全1207点の応募を頂いた「あいさつ・声かけ運動標語」の表彰式を行ったあと、青少年育成山梨県民会議の青少年団体自主活動表彰を受賞した、北杜市ジュニアリーダーの表彰式も行われました。その後、大会宣言の朗読が行われ、大会を閉会しました。



第16回青少年育成北杜市民大会 大会宣言

未来を担う青少年が、ふるさと北杜に誇りを持ち、心身ともに健やかに成長していくことは、私たち市民すべての願いです。

多くの青少年は、コロナ禍にありながらも、夢や希望の実現に向け努力しながら、日々たくましく成長しています。

一方で、情報化が急速に進み、インターネットやSNS(ソーシャルネットワークサービス)等の利用による犯罪・被害の増加など、青少年を取り巻く社会環境が大きく変化し、問題は複雑化、深刻化し、大きな課題となっています。青少年を健全に育成し、非行を防止するために、家庭、学校、地域の人々が一体となって、夢や希望を育み安心して暮らすことができる地域づくりに、より一層力を入れて取り組むことが重要です。

「地域の子どもは地域で守り育てる」の意識のもと、相互に協力・連携しながら、子ども一人ひとりの顔が見えるような地域の実現を目指していくことを、ここに宣言します。

令和2年11月28日

楽つみ木広場ワークショップinほくと



今年初めての取り組みとして、木楽舎つみ木研究所の荻野氏を講師に迎え、国産ヒノキでできた、正方形・長方形・台形の3種類の楽(らく)つみ木2万個で自分より大きな山や動物、乗り物…なんでも自由に形にする「楽つみ木広場ワークショップ」を開催しました。

当日は、市内の子育てサークルちょこっと♪チームつみ木ママ・パパの皆さんに協力して頂きながら、木のぬくもりを感じ五感をフル活用して、たくさんの人と交流しながら、つみ木を通して創造力や挑戦する心を育むことが出来たのではないのでしょうか。

今年は新型コロナウイルス感染症の対策を十分に取っながら人数制限やソーシャルディスタンスを確保するなど工夫をしながらでしたが、参加した子どもたちは思い思いの作品を「建築」していました。

また、大人も一緒に参加して頂き、大人も熱中するほどで、今後はつみ木＝小さい子どもの遊びではなく、幅広い年代の子どもに参加してもらい子どもたちの情緒的、知的発達のためとなるよう開催していきたいと考えています。



【甲陽病院美化活動】（青少年育成長坂地区民会議）

今年で10回目となる美化活動を中学生55人と地区民会議役員で、10月31日（土）に甲陽病院で行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、長坂中学校と甲陵中学校の生徒が接触しないように作業場所を分ける等の対応を講じながら、花壇の草取り、落ち葉掃きをしました。参加した中学生からは、「初めてボランティアに参加したが、花壇がきれいになるだけでなく、自分の心もすっきりした。」との感想がありました。また、甲陽病院の皆さんにはコロナ禍に、市民に寄り添い、市民の健康のために頑張っていただいていることに感謝して、参加者全員で拍手を送りました。



【坐禅体験教室】（青少年育成小淵沢地区民会議）

2月13日（土）生涯学習センターこぶちさわホールにおいて、白州町自元寺の山崎住職さんを講師に、小淵沢・長坂地区民会議交流事業の坐禅体験教室を実施しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながらのため、参加人数を例年の1/3に減らしました。まず、座と坐の意味の違い、脚の組み方、視線の方向等を学び、体（身）を整えると息が整い、息を整えると心も整うと教えていただき、約1時間の坐禅を行いました。これからいろいろな場面で緊張してしまうこともあると思います。そんな時には坐禅のことを思い出し、心を整え乗り越えて欲しいと願います。



【子ども書き初め教室】（青少年育成白州地区民会議）

感染防止対策を講じ、1月5日（火）に小学生17名・中学生3名の計20名の参加者を募って書き初め教室を行いました。講師に書家の中島康堂先生と泉小の清水栄子先生をお招きし、子どもたちは真剣に、またひたむきに練習に取り組み、教室内はしんと静まりかえり、ある種の緊張感が漂っていました。作品を比べてみると明らかに上達ぶりを感じ取れ、先生のご指導と子どもたちの練習に臨む姿勢のすばらしさがそうなのだと言えます。コロナ禍が落ち着き、普通に事業を進め、同じように満足する子どもたちの顔を見たいと強く思います。そこで、様々な学びを獲得し、子ども一人ひとりが自分自身を高めていってくれることを願って止みません。



【武川青少年育成防犯ボランティア情報交換会】（青少年育成武川地区民会議）

2月26日（金）に、2回目の武川青少年育成防犯ボランティア（通称青パト）の情報交換会を行いました。本年度は日常の下校時の見守り活動の他にも小中学校の消毒作業、中学校の中山登山へ向けた登山道整備と登山同行、熊出没や声かけ事案への対応、更には小学校児童へのリフレクター付きライトホイッスルの配布など様々な活動を行ってきました。本年度を振り返る中で、学校と子どもたち、関係機関との連携を強化していくことの重要性を再認識することとなりました。本市では、あいさつ声かけ運動を推進しています。隊員からも、地域の方々からも積極的に声かけを行い、子どもたちの安全安心を確保できるように励んでいくことを確認しました。



【北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会の取組】（北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会）

本年度は新型コロナの影響によりほとんどの事業が中止を余儀なくされ、子供たちにとっては貴重な体験の場であった為、大変残念に思いました。来年度には新型コロナウイルスが終息し本年度の分も地域の子供たちにとって有意義な活動が出来るように取り組んでいけたら良いと思っています。特に、来年度の役員の皆様にはコロナ禍の状況に合わせて市子連事業のあり方を検討していただければ有り難いと思います。（北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会 会長）

【JL（ジュニアリーダー）研修会】（北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会）

毎年12月に、市内の中学生を招待してJL活動を知ってもらうためにクリスマス会を行ってきました。しかし、今年は中止。代替措置としてJL活動を紹介するためのビデオ撮影をしました。そして、2月に市内の中学校にDVDと一緒にJL加入申込書も配布。加入申込をした中学生は14人。4月からは“JL活動をやってみたいという前向きな気持ちを縮小させない”で、学校や家庭とは違う仲間との活動を楽しみ、地域のリーダーとして活躍してほしいと思います。



市内8地区民会議・北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会の活動

【明野地区書き初め教室】（青少年育成明野地区民会議）

明野総合会館において12月27日（日）に、講師の矢崎元子先生と土屋さち子先生の指導による「書き初め教室」を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染防止のため、参加者にはガイドラインに沿った対応と定員を少なくしての実施となりましたが、その分きめ細かな指導ができました。講師から書道の基本や用具の使い方などの説明をいただいた後に、小学1.2年生は硬筆を、3年生以上は毛筆で練習。休憩時間をはさみながら約2時間の教室でしたが、硬筆の低学年の中には集中力に欠けてしまう児童もいましたが、講師の言葉かけで最後まで頑張って繰り返し練習をしていました。毛筆では、基本を教えていただいたため、かなり上達したように感じられました。



【横断旗や収納箱などの通学路安全点検活動】（青少年育成須玉地区民会議）

子ども達の通学路（主に交差点や横断歩道付近）に設置してある横断旗やその収納箱などの点検を10月に行いました。その際に、傷んだ収納箱や横断旗を新しいものに替え、横断旗については本数を増やすなどして、子どもも大人も安心して通行できるよう、点検活動を行っていきたいと思います。また、子どもが安全に生活できる地域づくりにご協力をいただいているパトロールボランティアの方々や子ども110番の家の方々はこの場を借りて感謝いたします。



【小中学生のための書道教室】（青少年育成高根地区民会議）

12月26日（土）に、高根町農村環境改善センターにおいて、「小中学生のための書道教室」を行いました。今年度は、会場を3会場にして40人の募集をしました。しかし、新型コロナウイルス感染症のためか、参加者は16人と少なく、当日は2会場に分けての実施となりました。マスクを着用し、検温、手指の消毒を終えて会場に入った参加者は、講師の先生に手を取りながら教えていただき、2時間30分の間それぞれの学年の課題に真剣に取り組んでいました。



【親子お月見団子作り教室】（青少年育成大泉地区民会議）

今年度の十五夜は10月1日、十三夜は10月29日でした。そこで、10月10日（土）に、大泉総合会館の調理室で、「親子お月見団子作り教室」を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を例年の半分以下の3組とし、全員マスク着用、入館時に手指の消毒と検温をしたうえで、講師の先生の指導によりお月見団子作りを体験しました。参加者は、慣れない料理用手袋に苦労しながら、親子で協力してそれぞれ十五個のお団子を完成させ、持ち帰りました。自分で作ったお団子の味はおいしかったですか？



コロナ禍にあるからこそ、地域の大人が地域の青少年を見守ることが大切です！

～北杜市青少年育成推進員～

各地区に、北杜市教育委員会より委嘱を受けた青少年育成推進員の方がいます。平成31年度～令和2年度は、77名の方が委嘱を受け、次の活動をしました。

- (1)市内における青少年問題の実情を把握し、青少年関係機関等と連携しながら青少年の健全育成
- (2)青少年のグループ活動の促進、有害環境の浄化、青少年の居場所作りの促進、週末活動・体験活動の促進、非行防止及びその他青少年健全育成活動の推進
- (3)青少年育成推進員は、地区ごとに代表を置いて各推進員を取りまとめるとともに、市民会議への参画
(活動例)・各青少年育成地区民会議が行う研修、会議等への参加
・日常生活での見守り、安全安心の確認等(安全パトロール など)
・青少年に関わる事業や活動などへの協力(体験教室、ボランティア活動 など)